

## I 重点目標についてのヒアリングまとめ

### (1) ヒアリング概要

#### ■経緯

第1回生涯学習推進計画策定委員会（8/25）での議事要旨より

- ・策定時、社会教育委員会議の提言を生かして策定したという経緯がある。  
見直しについても、社会教育委員会議と生涯学習推進計画策定委員会とが連携し、社会教育委員会議でのご意見いただき、反映しながら進めていきたい。
- ・計画策定に携わり、生涯学習を推進してきた現場（当事者としての公民館や学校等）の意見を聞いて、評価・検討したい。（重点目標3点に絞って、自由に意見を出し合えばどうか。）  
⇒社会教育委員会議での議論をお願いできないか。  
⇒第2回社会教育委員会議（9/10）にて承認。

#### ■方法

##### ①共育コミュニティの推進

日 程 9/24 共育コーディネーター会議

対象者 共育コーディネーター（各地区本部 CN12名、統括 CN1名）

##### ②ESDの推進

日 程 9/10 第2回社会教育委員会議

対象者 学校教育課長、学校長代表

##### ③地域を創る話し合いの場づくりの推進

日 程 9/30 公民館長会議、10/7 公民館主事会

対象者 各公民館職員（中央及び地区公民館、計9館の公民館長及公民館主事）

### (2) ヒアリングでの意見

#### ①共育コミュニティの推進

##### 主な意見（共育コーディネーター 20.9.24）

- ・市内全域に共育コミュニティが立ち上がり、共育コーディネーターを配置。月1回のコーディネーター会議で情報共有もでき、連携の輪が広がった。
- ・従来の健全育成の取組は学校の外側からの単発的な取組が多かったが、共育コミュニティは学校とより連携して年間通じた取り組みを行うことができる。
- ・家庭との連携が不足している。
- ・認知度が不足している。
- ・世代（学年）を超えた取り組みを強化したい。
- ・コミュニティスクールとの関係性を明確にしたい。

## ②E S Dの推進

主な意見（学校教育課・学校長代表 20.9.10）
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ E S Dは広い意味合いであり、教育の要所にちりばめられているが、市としてE S Dの看板を持って周知を図ってはいない。</li> <li>・ ユネスコスクールについては、策定当時の2校のまま増加していない。ユネスコスクールは手段であり、ゴールではないので、このまま重点目標とするかは検討が必要。</li> <li>・ 直近の学習指導要領改訂で初めて加えられた前文中に、「多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓ひらき、持続可能な社会の創り手となることができるようにすることが求められる」とされている。これがE S Dそのもの。学校教育において、教科を横断的に考え、カリキュラムマネジメントをしっかりとすることが、生きていく力の向上を進めていくことにつながる。ただ、E S Dを意識して行っているかは学校差がある。</li> <li>・ E S Dという言葉を広めていくべきものか、S D G sに置き換えていくべきか。これまでのE S Dの概念は必要であるが、生涯学習推進の中での記載ぶりへの検討が必要。言葉について、みんながわかりやすい言葉に替えることも検討してほしい。</li> </ul>

## ③地域を創る話し合いの場づくりの推進

主な意見（公民館長 20.9.30）
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「地域を語ろう」シンポジウムについては、策定時は意識をもって行っていたが、策定後はできていなかった。ただし、共催で実施したタウンミーティングや共育コミュニティが行う共育ミニ集会等で、地域のことを話し合う場を持った。</li> <li>・ 地域についての話し合いは、参加者が集まらず、地域の役付きの方に依頼することとなり、話し合いのメンバーが固定的になる。</li> <li>・ シンポジウムをすることがプレッシャーとなっている。地域の課題に対して深められるような意識をもって実践する（地域の方の意見を傾聴し、事業を実施していく）という表現にすると、広がりが出てくる。</li> </ul>
主な意見（公民館主事 20.10.7）
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 計画を意識して事業を進めることはできていなかった。</li> <li>・ 重点目標3 地域を創る話し合いの場づくりの推進については、改めて「場を設ける」ことには後ろ向きである。シンポジウムや講座イベントでは毎回同じ人（地域の役を持っている方や公民館運営委員）が参加することとなる。参加者の満足度は高い。</li> <li>・ 従来公民館事業等で館に来ていただいた方との会話から地域の課題を拾えばよいと感じる。</li> </ul>